

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称	シリコーンスポンジシート	
品番	SSR930N	
会社情報		
会社名	マクセルクレハ株式会社	
住所	大阪市中央区久太郎町 2-4-27 (〒541-0056)	
担当部門 (発行)	マクセルクレハ株式会社 品質保証部	
住所	三重県津市観音寺町 255 (〒514-0062)	
電話番号	059-226-4180	
FAX 番号	059-226-4123	
緊急連絡先	東京 TEL (03)3832-6120	FAX (03)3832-6125
	名古屋 TEL (052)411-1156	FAX (052)411-6477
	大阪 TEL (06)6271-8291	FAX (06)6264-7294
	九州 TEL (093)521-9083	FAX (093)521-9075

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性/引火性ガス	分類対象外
	可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
	高压ガス	分類対象外
	引火性液体	分類対象外
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	分類対象外
	自然発火性固体	区分外
	自己発火性化学品	分類対象外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	有機過氧化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類対象外
	鈍性化爆発物	分類対象外
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類対象外
	急性毒性 (経皮)	分類対象外
	急性毒性 (吸入: ガス)	分類対象外
	急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類対象外
	急性毒性 (吸入: 粉塵)	分類対象外
	皮膚腐食性/刺激性	分類対象外
	眼刺激性	分類対象外
	呼吸器感作性	分類対象外

	皮膚感作性	分類対象外
	生殖細胞変異原性	分類対象外
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器／全身毒性 (単回暴露)	分類できない
	特定の標的臓器／全身毒性 (反復暴露)	分類できない
	吸引力呼吸器有害性	分類対象外
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	分類できない
	水生環境有害性(慢性)	分類できない
	該当しない	

GHS ラベル要素

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名	シリコーンゴム、ゴム薬品の混合物

改正化管法対応 (R5.4.1)

危険有害成分	含有率(%)	平均値(%)	CAS No.	化審法	化管法(PRTR) 現行(改正)	安衛法
1) シリカ	20 - 30		非公開	非公開	-	-
2) アゾビスイソブチロニトリル	-	2.3	78-67-1	2-1531	1-16(-)	-
3) ジクミルペルオキシド	-	0.46	80-43-3	3-1086	非該当	-
4) ベンゾイルパーオキシド	0.09 - 0.10		94-36-0	3-1349	-	9-282
5) 2244668810101212Dデカメチルシクロヘキサシロキサン	-	0.39	540-97-6	41(監視),7-475	-	-
6) 22446688101010デカメチルシクロペンタシロキサン	-	0.39	541-02-6	7-475	-	-
7) 22446688オクタメチルシクロテトラシロキサン	-	0.2	556-67-2	40(監視),7-475	非該当	-

※改正化管法対象物質であれば、化管法欄の()内に管理番号を記載しています。

※化管法対象物質でも、基準値未満の場合は、「非該当」と記載しています。

※一種⇄二種の変更、もしくは新規追加の場合は「一種」、「二種」と化管法欄の()内に記載しています。

4. 応急措置

眼に入った場合	直ちに清浄な水で5分間以上洗い、不快感が残る場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	水と石鹸で付着した部分をよく洗う、不快感の残る場合は医師の診断を受ける。
吸入した場合	加工時に発生する微粉末を吸い込んだ場合、直ちに空気の清浄な場所に移し、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	できるだけ吐き出させ、異常がある場合は、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	水、炭酸ガス、粉末
特定の危険有害性	燃焼等により有害ガスを発生する可能性がある。
特定の消火方法	風上から、水等により消火する。
消火を行う者の保護	呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	人体に対する危険有害性は小さいと考えられる。
環境に対する注意事項	環境への影響は小さいが、長時間残留すると考えられるので環境中に廃棄しない。
除去方法	全品拾い集め回収する。
<hr/>	
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	取扱い後の手洗い励行する。 重量物のため、落下しないように注意する。
保管	火気から遠ざけて、冷暗所で保管する。 重量物のため、荷崩れを防止する。
<hr/>	
8. ばく露防止及び保護措置	
設備対策	研磨など粉塵の発生する作業を行う場合には、静電気による粉塵爆発の危険性があるので、静電気除去装置を設置する。
保護具	研磨作業等・・・保護眼鏡、保護マスク シートの取扱い・・・保護手袋など
<hr/>	
9. 物理的及び化学的性質	
外観等	赤色のスポンジシート状固体
沸点	—
揮発性	高温にて一部成分が揮発する可能性がある。
融点	—
引火点	—
発火点	—
溶解度	水に不溶。
可燃性	可燃性物質であり、燃焼等により有害ガスを発生する場合がある。
<hr/>	
10. 安定性及び反応性	
安定性	常温では安定で反応性に乏しい。
反応性	特になし。
<hr/>	
11. 有害性情報	
刺激性	現在のところ有用な情報なし。
毒性	現在のところ有用な情報なし。
ガン原性	現在のところ有用な情報なし。
変異原性	現在のところ有用な情報なし。
<hr/>	
12. 環境影響情報	
残留性／分解性	環境中で長期間残留すると考えられる。
生体蓄積性	現在のところ有用な情報なし。
環境影響	直接環境に影響する可能性は少ない。
<hr/>	
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	焼却：管理された焼却設備を用いて“大気汚染防止法”等にしたがって焼却する。

埋め立て：廃棄物の処理および清掃に関する法律に従い、公認の産業廃棄物処理業者又は地方公共団体がその処理を行っている場合はその団体に委託して処理をする。

14. 輸送上の注意

国際規制

IATA

危険物には該当しない。

IMDG

危険物には該当しない

国際分類

危険物ではありませんので該当しない。

国内規制

船舶安全法・危規則

該当しない

航空法・施行規則

該当しない

重量物のため、荷崩防止に注意する。

15. 適用法令

法規制

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（改正化管法）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（産業廃棄物、廃プラスチック類）

消防法（火災予防条例） 消防法 指定可燃物（3000kg以上）

16. その他の情報

安全データシートは危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者提供されるものです。危険有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱う事業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱いの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることをご理解した上で、活用されるようお願いいたします。
